リニューアルしたプールで（鶴ヶ丘小学校）

UCHINADA

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp
町ホームページ http : //www.town.uchinada.lg.jp

町章

うちなだ 議会だより

新議会の体制きまる 2ページ
震災訓練を実施 6ページ
宮坂保育所跡地は学童保育 7ページ
大型車の通行規制は 9ページ
いっぱん質問－10人が登壇－ 10ページ

Vol.90
平成19年［2007］
7月25日発行

〒920-0292
☎076-286-6715 FAX076-286-6711
石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1
発　行：内灘町議会
責任者：議長　渡辺　旺
編　集：議会広報対策特別委員会

再生紙を使用しています

新議会の体制 決まる

5月11日に臨時議会が開かれました。
議長に渡辺　旺氏、副議長に水口　裕子氏を選出した後、常任委員会、特別委員会、一部事務組合議会議員などの設置・選任が行われました。

水口　裕子　副議長

渡辺　旺　議長

プロフィール

水口　裕子　副議長

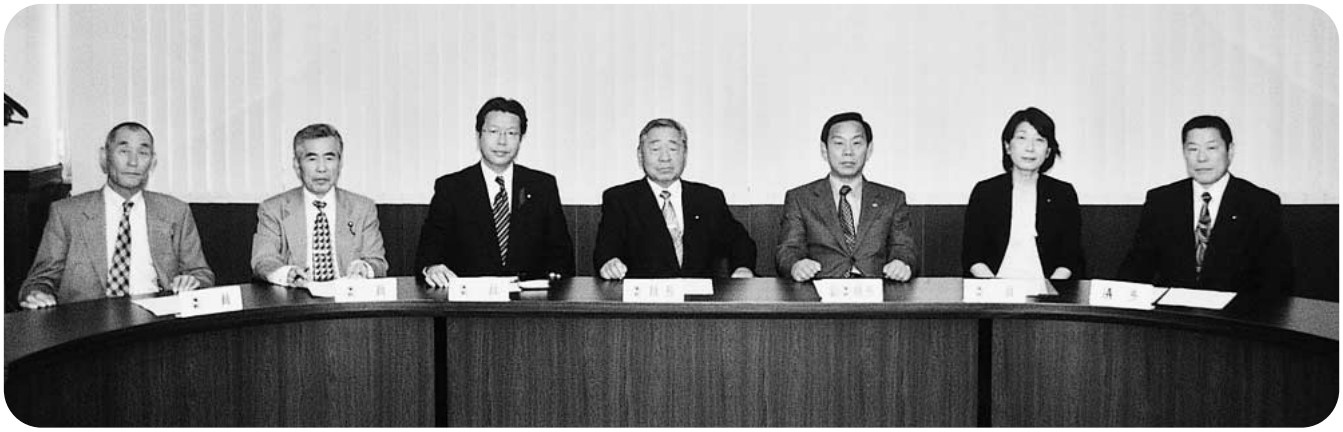
総務、文教福祉の各常任副委員長、広報対策特別委員長等を歴任。３期。
向陽台在住。
信条　１人はみんなのために
　　みんなは１人のために。

渡辺　旺　議長

副議長、総務、文教福祉の各常任委員長、決算特別委員長等を歴任。４期。
鶴ヶ丘在住。
信条　若者が根付く町づくり。

議会運営委員会

議会の日程、議案や一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や、議長からの諮問事項を審査します。



能村憲治　北川　進　清水文雄　**◎南　守雄**　**○中川　達**　水口裕子　渡辺　旺
（◎は委員長、○は副委員長）

一部事務組合等の議会議員

河北郡市斎場施設組合
議会議員（３名）

米田　満・北川　進・能村　憲治

河北郡市広域事務組合
議会議員（４名）

南　守雄・八田外茂男・水口　裕子
清水　文雄

石川県後期高齢者
医療広域連合議会議員（１名）

渡辺　旺

青少年問題協議会委員（１名）

生田　勇人

監査委員に米田　満氏

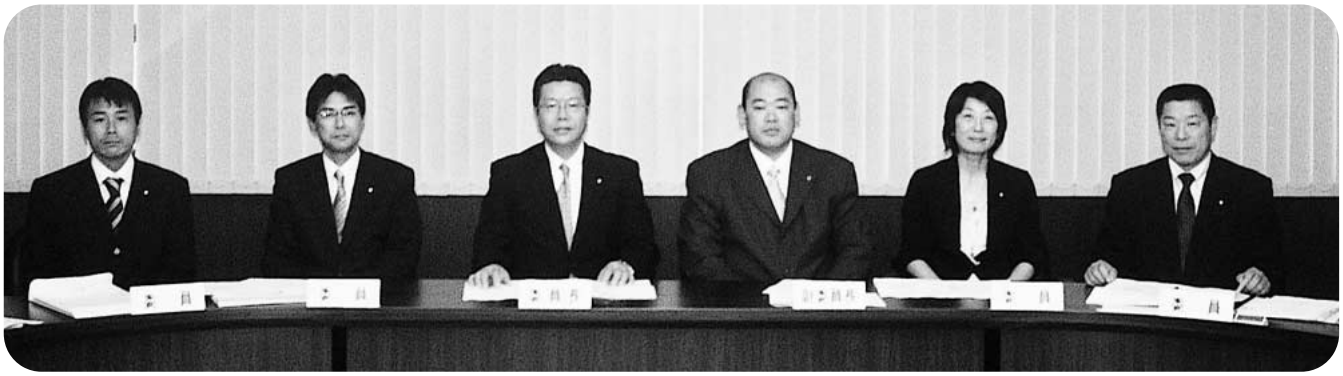
用語解説

監査委員は、財務に関する事務が法令等に従って適正、効果的に行われているかなど、行財政の執行をチェックする機関。本町では、定数２名のうち１名は議員の中から選出されます。

一部事務組合とは、特定の事務を関係する市町村で協同処理するために設立された組合で、特別地方公共団体です。その議決機関として議会が置かれています。

総務常任委員会　6名

総務部、まちづくり政策部、消防本部の所管に関する事項を審査します。



南　和彦　　川口正己　　◎清水文雄　　○夷藤　満　　水口裕子　　渡辺　旺

（◎は委員長、○は副委員長）

文教福祉常任委員会　5名

町民福祉部、教育委員会の所管に関する事項を審査します。

北川悦子　　南　守雄　　◎能村憲治　　○生田勇人　　中川　達

産業建設常任委員会　5名

都市整備部の所管に関する事項を審査します。

藤井良信　　八田外茂男　　◎北川　進　　○恩道正博　　米田　満

広報対策特別委員会

５人の委員で「議会だより」の編集発行業務等を行います。

恩道正博　北川　進　◎川口正己　○北川悦子　能村憲治　渡辺　旺議長

環境開発対策特別委員会

河北潟周辺の水質浄化および環境保全、都市基盤の整備等に関する問題を 15 人の委員で調査します。

夷藤　満　南　和彦

行財政改革特別委員会

行財政改革大綱の進捗状況、改革手法の調査研究などを 15 人の委員で調査します。

中川　達　米田　満

平成19年 第1回 臨時議会 —5月11日—

一般選挙により議員が当選すると、議会召集に即座に対応できる体制を作るため、臨時（組織）議会が開かれます。

□平成18年度一般会計・各特別会計予算の精算等に伴う補正。
（全員賛成）

□地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の医療分の限度額を53万円から56万円に改正。
（賛成13人）（反対2人）

□地方税法の改正に伴い、税条例の改正。
（賛成14人）（反対1人）

6月定例議会

6日～15日

町長提出議案は、19年度補正予算4件、条例1件、中学校校舎改築工事の契約など6件を審議し、すべて原案のとおり可決。
追加提案された人権擁護委員と固定資産評価審査委員の選任に同意。
町政一般質問は10人の議員が登壇。

災害に備え
金沢市と震災訓練を実施
非常災害用備品の購入

昨年行われた金沢市と内灘町の合同震災訓練

一般会計

平成19年度予算に、3878万円を追加し、予算総額を84億5878万円としました。（全員賛成）

呉江市より公式訪問団

7月26日～8月1日にかけて来日する中国呉江市からの公式訪問団の受け入れ費用に299万円。

防災意識の高揚

能登半島地震を教訓に、防災意識の高揚と関係機関の連携強化を図るため、昨年に続き9月2日に実施予定の金沢市との震災訓練費用に108万円。

また、非常災害用炊飯器7セットの購入費用として125万円。

第1・第3日曜日もオープン

4月に向陽台へ移転した子育て支援センターの日曜日の開所を望む声に応え、第1・第3日曜日もオープンするための人件費として81万円。

不登校・いじめ防止に対応

小学校の不登校やいじめなどの早期発見、早期対応等に関する調査研究事業、いじめ防止を目的に先輩等の体験談を聞く会の開催等の費用に54万円。

道の駅（サンセットパーク）の施設整備

「道の駅」に指定された「サンセットパーク」の利便性を向上させる施設整備に２５０万円。

町道の陥没、補修費用のほか、舗装改良工事等の費用に２０５０万円。

「道の駅」から内灘町を全国に紹介

野球場を改修

町営野球場は、開設から30年余りが経過し施設の老朽化が進み、スコアボードの腐食が激しいため、安全管理と施設の整備充実を図るための改修工事費として１２３２万円。

宮坂保育所を学童保育クラブに

旧宮坂保育所を９月より宮坂学童保育クラブとして設置するための条例改正。

（全員賛成）

「プラッツうちなだ」に管理委託

町総合体育館と総合グラウンドの指定管理者に、「スポーツクラブ　プラッツうちなだ」を指定。

（全員賛成）

契約

○大根布バイパス管整備工事の指名競争入札の結果、落札者となった企業と工事請負契約を締結。

（賛成14人）（反対１人）

○中学校校舎改築工事で、建築・電気設備・給排水衛生設備・空調設備の４件の指名競争入札を行い、落札者となった各企業と工事請負契約を締結。

（全員賛成）

追加提案された人事案件に同意

固定資産評価審査委員

宮林　健治さん

（再任・緑台）

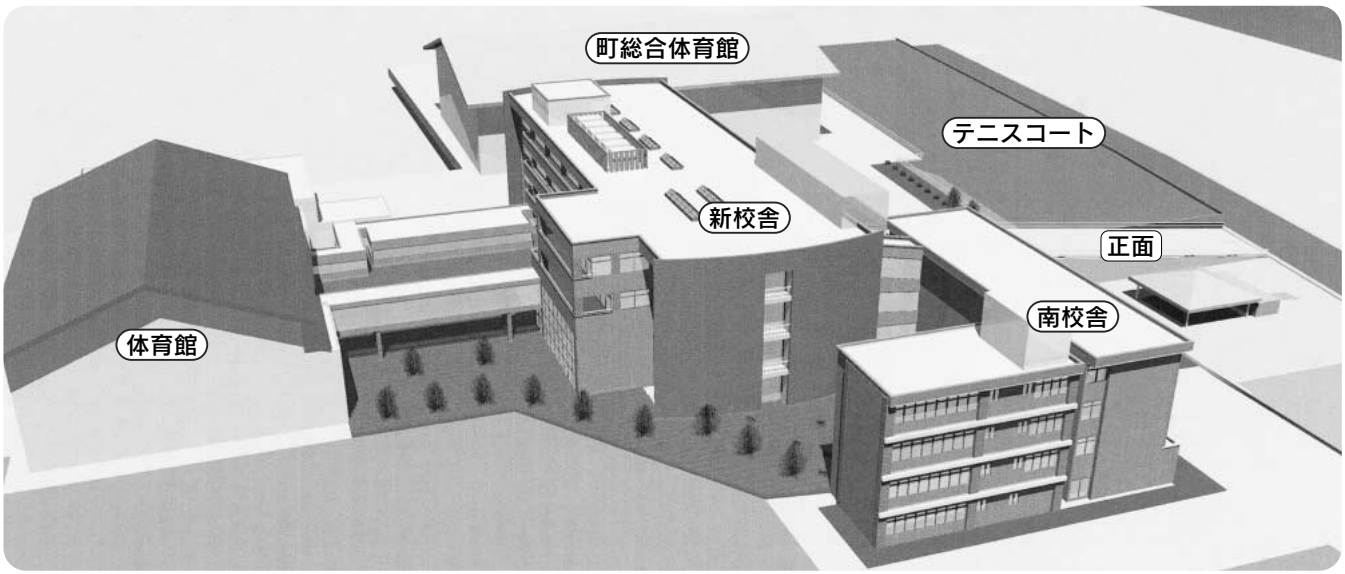
人権擁護委員

粟森　優子さん

（再任・アカシア）

切石　権之介さん

（再任・緑台）



内灘中学校南側の見取り図

お詫びと訂正

議会だより「第89号」の17ページにおいて、見出しで「直接債務で83億円」、本文で「一般会計と公共下水道会計で約83億円。」と記載されていますが、「183億円」が正しい数字です。お詫びのうえ訂正させていただきます。

常任委員会レポート

Q&A

審議内容の一例を紹介します。

総務常任委員会

コミュニティバスの今後は

Q コミュニティバスの導入は、今後どうなっていくのか。

A ワーキンググループで運行ルートの素案を作成、その案を基に公募委員と町内の委員で検討のうえ、公共交通活性化検討委員会で運行ルートが決められる。平成20年1月から実証実験を開始したいと考えている。

Q 町総合体育館と総合グラウンドの管理は、体育振興事業団から「プラッツうちなだ」に移るが、中学生等の体育や部活動の使用はどうなるのか。

A 基本的に授業や部活動を優先して使用することになるが、大会等で重なった場合は双方で協議することになる。

Q 指名競争入札から一般競争入札へ移行すべきでないか。また、入札結果は町ホームページで公表を。

A 制限付き一般競争入札の導入に向け部内で検討している。従来、町広報に工事130万円以上、委託業務100万円以上の予定価格の入札につき、契約金額等を掲載しているが、町ホームページにも順次掲載していく。

Q 町が所有する未利用地、遊休地の活用と処分を検討すべきでないか。

A 有効活用の手法、価格の算定方法や周知方法を検討し、処分が必要なものはその手続きを進めていきたい。

3月まで運行していた「おーしゃんループ」

文教福祉常任委員会

プラッツうちなだの予算は

Q 「スポーツクラブ プラッツうちなだ」の予算はどうなっているのか。

A 町から２００万円を補助しているほか、7月から来年3月までの総合体育館と総合グラウンドの管理委託料として７７０万円程。

Q 子育て支援センターの利用で、北部地区の方の登録が少ないのはなぜか。

A 白帆台保育園で開設している地域子育て支援センターを利用しているため。

Q クーラーを設置するのは、どこの保育所か。

A 緑台、鶴ヶ丘、鶴ヶ丘東、北部保育所に設置。

Q 町内に6箇所あるグループホームは、町外の方も入所できるのか。

A 原則として内灘町民に限られるが、他市町と協定を結べば入所できる。

Q 町営野球場の改修内容は。

A 既設のバックスクリーンとスコアーボードは老朽化のため撤去新設し、外野フェンスも取り替える。

老朽化で錆ついたスコアボード

産業建設常任委員会

大型車の通行を規制できないか

Q 内灘高校前を走る準幹1号線は、大型車の通行を規制できないのか。

A 県のタンクローリー協会へ走行自粛の申し入れをするとともに、朝夕だけでも交通規制ができないか公安委員会と協議する。

Q 大京の開発事業に対し、身障者対応の駐車場整備や防砂を含めた植樹等を要望すべきでないか。

A 開発業者である大京と協議していきたい。

Q 総合公園の今後の整備スケジュールは、どうなっているのか。

A 今年度は、宮坂南線（宮坂と白帆台と結ぶ道路）の整備に伴い搬出される砂の受入れと実施計画の策定を予定している。

Q 「道の駅」に指定されたサンセットパークの今後の位置づけはどうなのか。

A 町の観光を全国にPRするための発信基地に位置づけ、施設の充実を図りたい。

内灘高校前を走行する大型車

質問

10人が登壇

能村 憲治 議員

海岸沖合での風車計画を問う ―― 能村 憲治議員

県の意向を重く受けとめる ―― 八十出町長

能村　内灘海岸線9キロに32基の風力発電施設を設置、電気は関電に売電。

風車設置が地域の環境に重大な影響を及ぼすものであってはならない。

風切り音の苦情、雷の誘発による落雷音の想定、魚や海底生物、渡り鳥を含めた地域に生息する鳥等、また低周波騒音による生態系の乱れ等が想定される。

これらを踏まえた上での町の考えは。

町長　海表風力発電は国内でも例のない事業であり、規模が大きいことからさまざまな課題がある。

許可権者である県の意向を重く受けとめつつ、県と事業者の交渉経緯を見きわめながら議会と相談したい。

能村　町は設置計画場所が県条例に基づく景観形成重要地域であることを認識していたのか。

町長　もちろん認識していたし、事業者に対して県への届け出対象施設であることも伝えてある。

医療制度改革の町の対応は

能村　来年度より町は保険者として加入者の健診、保健指導等が義務化される。

この取り組みが将来の内灘町の住民の健康、医療費、介護保険等に関し重要な責任を持つことになる。

この改革が町に与える影響とその取り組みを問う。

特定健診計画の策定をいそぐ

町民福祉部長　制度改正以前の実績を踏まえ、さらに予防事業や保健事業を展開していく。

将来、医療や介護の世話になる町民が減少し、ひいては国保会計の医療費負担が軽減され、結果として国保財政の健全化、町民の健康寿命の延伸に期待できる。

はつらつ健診

能村　IT教育事業の開講が遅れているのは、延期なのか中止なのか。

都市整備部長　現段階では、中止でなく延期ととらえている。

能村　IT教育事業の今後の見通しを問う。

都市整備部長　事業が早期に開講できるよう、会場提供など積極的に協力、支援する。

能村　文化会館3階の視聴覚室をIT事業者に使用させる約束があるのか。

都市整備部長　開講が遅れているため、当分の間は3カ月単位で一般利用者に開放。

いっぱん

生田　勇人 議員

北部地区の活性化を図れ

生田　勇人議員

住民と大いに議論

八十出町長

生田　北部地区の開発、活性化こそ、町の将来に重要な問題である。

市街化調整区域として、農地は農振農用地として厳しく規制されている。

まず、住宅形成区域と県道松任宇ノ気線に沿う区域の市街化調整区域を見直し、市街化区域として活性化を図れ。

町長　市街化区域の編入は、国の基準を満たさず現在のところ難しい。

北部地区の活性化は、住民と大いに議論をしていきたい。

そのため、勉強会、出前講座等の要望があれば積極的に取り組んでいきたい。

宮坂８号線と 17 号線の交差点

スポーツ施設を整備せよ

生田　総合公園内に多目的運動公園の整備、将来には総合体育館を建設。

周辺の宿泊施設と一体となった活用で交流人口の増加を図り健康で魅力ある町づくりが必要。

今後、総合公園の整備事業計画はどのように進行していくのか。

現状では難しい

都市整備部長　施設整備は、膨大な事業費が必要なことから、現在、全体施設整備の内容について調整を行っている。

総合体育館の建設は、町体育協会からも要望が出されているが、財政状況が厳しい現状では優先度合いからも難しい事業だと考えている。

生田　各種団体より大会開催の要望があった場合、後援補助を積極的につけているのか。

浜田教育長　町や教育委員会の後援ということで施設の使用料を減免する方法をとっている。

生田　学童保育施設を全学年の児童が利用できるものとせよ。

町長　施設規模や運営形態等の問題があり極めて難しい。

生田　宮坂南線から宮坂８号線に進入する道路出入口部の幅員を拡幅せよ。

都市整備部長　出入口の拡張は考えていないが、一度現場を確認したい。

生田　宮坂８号線と17号線の交差点に停止線、停止標識、ミラーを設置せよ。

都市整備部長　ミラーの設置は検討、一時停止標識は県公安委員会に要望。

用語解説

市街化を優先的・計画的に推進する**市街化区域**に対し、市街化を抑制するため、一定のものを除き開発や建築行為が制限される地域として**市街化調整区域**が定められています。

水口　裕子 議員

非正規職員に育児休暇を

復職できる制度を検討

水口　裕子議員

総務部長

水口　育児休暇が認められない非正規職員は、仕事を続けるなら産休明けには、復帰しなければならない。

　子供が1歳になるまで希望に応じパートや嘱託職員に育児休暇を認めよ。

総務部長　内部経費の削減を図るため、嘱託・パート職員の活用を広げてきた。

　今後、子育て環境やパート・嘱託職員の身分保障の観点から、出産、育児休暇後に復職できるような運用制度を検討する。

水口　タウンミーティングを通じて、住民参加で議論せよ。

八十出町長　住民とひざを突き合わせて町の姿を考え、問題を共有したい。

水口　職員の財政状況、行財政改革の理解は、どのように進められているのか。

情報政策課長　既に勉強会を始め、町財政の危機意識が高まっている。

水口　職員出前講座は、職員のほうから積極的に講座を開くべきでないか。

情報政策課長　積極的姿勢を持つよう職員に働きかけたい。

水口　町長談話室は、座談会形式にする等、見直す時期に来ているのでないか。

情報政策課長　より多くの方が利用できる方法を工夫してみたい。

水口　職員提案制度は、1人1提案を義務化してはどうか。

情報政策課長　匿名性の確保、審査方法の見直しの検討を考えている。

水口　子育て支援センターが新しい施設に移転後の具体的な効果は。

センター所長　総登録者数は1200人を超え、以前より40％増の利用となっている。

水口　子育て支援の中核的な役割を期待されるが、今後の取り組みは。

センター所長　子育てにかかわる主要機関のネットワークづくりを担わせる。

水口　子育て支援センターの方針に男性の育児参加を取り入れる考えはないか。

センター所長　フォーラム等を通して、育児参加のきっかけを期待。

水口　将来子供を持つ、中学生の子育て参加をどう考えているのか。

センター所長　中・小学生の参加も学校側と協議していく。

水口　ほのぼの湯に、手すりや座面の高い浴室用椅子を備えよ。

浅田副町長　バリアフリーは専門家に相談し、順次改善していきたい。

水口　福祉センターで障がいのある人を自然に受け入れができる配慮を。

副町長　職員の意識改革は、講習会の参加も含め指導。

子育て支援センター

川口　正己 議員

海上風力発電計画を推進せよ ―― 川口　正己議員

交渉の経緯を見きわめたい ―― 八十出町長

川口　海上風力発電が実現すれば、県内はもとより日本中の注目を集める観光スポットにこの内灘がなると思われる。

　安倍首相が提唱した２０５０年までに二酸化炭素の排出量を現在の50％まで削減、美しい星50構想にも合致した計画であり、町と県が十分協議し、この計画を推進せよ。

町長　この事業計画は、環境問題の大きな貢献であると同時に、町の海岸線全域の景観にかかわる大規模な事業。

　しかし、今回の県の意向を踏まえ、今後は県と事業者との交渉の経緯を見きわめながら対処していきたい。

川口　海上風力発電で海水を電気分解し、水素電池の燃料の水素を取り出す国主導の海上風力発電基地、研究所を誘致せよ。

町長　町ならではの地域特性を生かした企業の誘致は、地域おこしの原点であり、様々な角度から研究していく。

学童野球の専用球場を

川口　子供たちの夢をかなえるため、学童野球専用球場をつくってはどうか。

　蓮湖渚公園を設計変更し、芝生の一部を土のグラウンドにして、学童野球のルールに合致したマウンド、バックネットとホームランを打った醍醐味が味わえる移動式の外野フェンスをつくり、楽しめるようにせよ。

学童野球の練習試合

既存施設の有効利用を図る

浜田教育長　蓮湖渚公園は、グラウンドゴルフ場や多目的広場などに整備し、多くの町民が利用できる憩いの場、健康づくりの場として計画を進めている。

　学童野球は、既存の施設の有効利用を図りながら子供たちの健やかな心と体づくりに努めたい。

川口　向陽台公民館前から鉄板道路まで、消雪設備を設置せよ。

都市整備部長　井戸水が不足しており、今後とも機械除雪で対応したい。

川口　消雪装置が途中で途切れている道路は、町内でそこだけでないのか。

都市整備部長　鶴ケ丘神社前の大通りで、県道に向かって信号のところも途切れている。

藤井　良信 議員

耐震法に基づく町の改修計画は ―― 藤井　良信議員

本年度中に策定 ―― 都市整備部長

藤井　平成18年に施行された改正耐震法に基づき、国は基本方針を作成し、自治体に耐震改修を義務づけている。

平成19年３月までに全都道府県で計画が策定され、町村の策定は努力義務となっているが、我が町の策定はどうなのか。

都市整備部長　３月25日に発生した能登半島地震を踏まえ、町民の生命の安全を図るためにも耐震化の促進が必要であり、９月定例会で予算を補正し、本年度中に耐震改修促進計画を策定したい。

藤井　住宅の耐震改修工事にどこまで補助するのか。

都市整備部長　工事費の限度額１２０万円の内、国・県・町で60万円を補助。

藤井　海岸に漂着したごみ、捨てられたごみの清掃方法は。

都市整備部長　ビーチクリーナー、海浜クリーン作戦、ボランティアによる清掃。

藤井　海岸清掃の年間予算はいくらか。

都市整備部長　回収・処分費用を合わせて約１３４０万円。

藤井　国からの補助金を検討し充実させる考えは。

都市整備部長　補助対象のハードルが高く、県も国に基準緩和を要望中。

早期の復興を－能登半島地震－

教育サポーター制度を導入せよ

藤井　国は、来年度から退職した団塊世代の人材を教育の分野で活用するため、教育サポーター制度の創設方針を固めている。

町独自の教育サポーター制度を検討、立案し、社会の経験者が培った豊かな知性を若い世代に伝えながらの人間味ある環境づくりを推進せよ。

藤井　教育サポーター制度を導入し、いじめレスキュー隊を設置せよ。

教育長　ＰＴＡ、ボランティア等の関係者の意見を聞きながら検討する。

藤井　風力発電事業の認可から着工に至る過程で、町議会の承認が必要か。

八十出町長　事業の着工に議決は必要でないが、議会の意見を聞く必要がある。

藤井　風車位置に係る固定資産税はどのように試算できるのか。

政策部長　初年度で約３億円余、耐用年数の17年間の累計で約24億円。

藤井　事業主と町との第三セクター方式で立案、申請の検討はどうか。

町長　第三セクターでの事業展開は今のところ考えていない。

「キラリびと制度」を活用

浜田教育長　平成10年からいろんな特技、知識を持った方にボランティア活動などを通じて、社会に還元するために、「キラリびと制度」がある。

この制度を活用し、生涯学習の講師、指導に当たっており、学校のゲストティーチャーとしても活躍している。

南　　和彦 議員

青壮年層の活力を生かせ ―― 南　和彦議員

協働のまちづくりに参画 ―― 八十出町長

南　青壮年層の民間活動や交流で培われたさまざまな経験と活力、斬新なアイデアと行政の裁量権を融合させてはどうか。

　その上でともに合意を図り、意見を創出し合い、意思決定をしていける青壮年層の活力を参画できる仕組みを構築せよ。

町長　自分たちの住む地域をどのようにつくり上げていくかという課題を町民と行政が共有し、改革に参画する協働の中で進めなければ、その実効性は得られない。

　社会の各界で活躍している青壮年層に、ぜひ参画してもらいたい。

安心できる保育体制を

南　町には現在、病気が治りがけの子供を保育する施設があるが、病児保育の施設または環境が整っていない。

　子供が軽い病気にかかっている時でも受け入れてくれる環境が必要であり、お母さんが安心して仕事ができる病児保育の体制を整えよ。

医科大学と協議

町長　病児保育を実施するに当たり、保健医療体制全般のさらなる充実を目指したい。

　包括連携協力に関する協定を締結した金沢医科大学と協議を重ねている。

　今後さらに協議し、早期に病児保育が実現できるように進めたい。

南　タウンミーティング、出前講座、町長談話室等の内容は、公開しているのか。

町長　ホームページ等で知らせており、実際の施策に生かしている。

若い力が大活躍（町民体育大会）

恩道　正博 議員

温暖化対策の取り組みと環境教育

CO_2削減に積極的に努力

恩道　正博議員

八十出町長

恩道　町は地球温暖化対策として、CO_2削減に取り組む姿勢があるのか。

あるとすれば、具体的に削減実施をどう進めるのか。

また、この取り組みを全町に拡大して小・中学校の教育課題として生徒に取り組みをさせるのも環境教育の一環でないか。

町長　冷暖房の温度調整の徹底に努める等、CO_2削減に積極的に取り組んでいる。

6月は2～3日程度、サンセットブリッジや風車のライトアップを停止、野球場ナイターの使用を制限している。

浜田教育長　鶴ケ丘小学校、中学校の暖房は、深夜電力での蓄熱暖房方式に切りかえる。

恩道　能登半島地震の発生後、町はどのような対応をしたのか。

総務部長　直ちに防災対策委員会を開き、被害状況の確認、情報収集に努めた。

恩道　公共の施設、一般の家屋等に被害はなかったのか。

総務部長　住宅1件、工場3件、橋のつなぎ目の段差1件、斜面崩れ1件。

恩道　公共施設の耐震は施されているのか。

総務部長　中学校、西荒屋小の改築で全ての学校の耐震化が完了。

その他の施設は、調査を進めたい。

恩道　夕陽ヶ丘苑増設の進捗はどうなっているか。

町長　第3期町介護保険事業計画に基づき、県へ公募の手続を進めている。

恩道　町在住者で特養老人ホームの入居待機者は何名か。

町長　入所待機者は89名で、内灘町民は49名。

恩道　将来は民間施設の活用も含め、どのような展開、運用を考えているか。

町長　金沢医科大学などと連携を図り、介護予防や重度化防止につなげる。

保育所移転は地元理解が必要

恩道　大根布保育所の建て替えはハマナス地区で民設民営保育所となっているが、今後、地元の大根布区民にどのように理解を求めるのか。

保育施設は町立と民間の両立てだが、町在住の児童すべてが対応できるのか。

今後の推移はどうか。

地元と協議

町民福祉部長　大根布保育所移転は保育所民営化検討委員会の報告であり、今後は議会や地元と充分協議を重ねたい。

町立、民間合わせて9施設に総定員900名で879名が入所、入園しており、待機の児童はいない。

今後は児童数の推移を見、統廃合、民営化で対処。

恩道　未満児保育の充実と、その保育料に補助金制度の導入を検討せよ。

町民福祉部長　受益者負担の観点から現状のままで考えている。

昭和45年に建築された大根布保育所

北川　悦子 議員

子育て支援を充実せよ ―― 北川　悦子議員

さらに支援・拡充を図りたい ―― 町民福祉部長

北川　健康な妊婦と出産を迎えるためにも、健診の公費負担の回数を増やせ。

町民福祉部長　妊娠届け者に5回分の無料券発行。今後支援、拡充を図る。

北川　中学校卒業まで自己負担なしの医療費無料、償還制度の見直しを。

町民福祉部長　医療費助成の拡大や小学生以上の自己負担撤廃は難しい。償還制度は、県と協議。

北川　保育料は、上の子が義務教育中であれば第2子半額、第3子無料にせよ。

町民福祉部長　県内で1カ所と聞くが、当町では難しいと考える。

北川　子供たちに、今ある施設を利用し児童館を設置せよ。

町民福祉部長　廃止された保育所を児童館や学童保育の施設に活用したい。

マタニティ教室

公共施設等へのバス運行は

北川　プール行きのバスが5月、おーしゃんループも3月末で廃止になった。

町の公共施設、金融機関やスーパーなどを結ぶバスの運行を住民は求めているのでないか。

浅田副町長　従来からの町有バスの運行形態の見直しを図るとともに、町内全域におけるコミュニティバスを含めた新たな交通体系の具体化を考えている。

誰にでも利用しやすく持続可能な公共交通として本年度中には実験運行まで進めたい。

本年度中には実験運行

北川　2年連続負担増の国民健康保険税の負担を軽減すべき。

町民福祉部長　財政状況から法定外で支援する余裕がなく、減税策は厳しい。

北川　災害に備え、能登半島地震に学び、弱い立場の方への災害対策は。

八十出町長　要援護者を把握の上、情報伝達や連携を図る仕組みに取り組みたい。

北川　「ほのぼの湯」のバス停に手すりがないため、手すりを設置せよ。

副町長　転倒防止のため早急に手すりを設けたい。

北川　医科大通りの「道の駅」入り口に信号と横断歩道を設置せよ。

町長　県公安委員会に要望ずみだが、機会あるごとに要望していく。

清水　文雄 議員

厳しい財政運営と合併問題 ―― 清水　文雄議員

町民の声を反映させる ―― 八十出町長

清水　財政状況が厳しくても自立の努力をしていくことが重要である。

困難を地域住民みずからの自己決定と自己責任で克服していくことが協働のまちづくりであり、私たちに求められている。

今後の町政運営、とりわけ合併問題に対する姿勢について、町長の考えは。

町長　町民が安心して豊かに暮らせることを目的に、行財政改革に取り組んでいる。

合併は、財政状況だけでなく、自治体が現状の規模のまま単独で住民の要望にこたえられるか町民が総合的に判断するものだと考えている。

町民から合併を求める声が上がれば議論する。

一般競争入札へ移行せよ

清水　予定価格に対する落札率は下がってきており、平成18年度の工事入札、全100件、平均落札は92・54％となっている。

指名競争入札では談合はなくならない。

入札制度の透明性を高め、公正な競争を促進するために指名競争入札から一般競争入札へ移行せよ。

制限付き一般競争入札を導入

浅田副町長　入札制度の透明性を高め、公正な競争を促進するためにも、一般競争入札制度導入に向け調査研究中。

無制限の一般競争入札は、多大な労力が必要となり、参加者資格等を一部制限する「制限付き一般競争入札制度」の導入を19年度中に整備、実施したい。

清水　アカシアの保全と植林に対し、町はどのように考えているのか。

産業振興課長　植林、保全の施工箇所の拡大を県に要望していく。

清水　アカシアの保全と植林に、アダプト制度を活用してはどうか。

産業振興課長　ボランティア団体等の協力を得ながら保全、育成に努めたい。

アカシア林帯の整備（ハマナスと大清台の間）

用語解説

アダプト制度とは、行政が、特定の公共財産（道路、公園、河川など）の美化活動を地域住民などと契約する制度です。

活動の主体は、ボランティア団体等が多く、行政は一定の支援を行います。

夷藤　満 議員

小学校の制服を統一せよ

夷藤　満議員

学校と保護者が協議

学校教育課長

夷藤　各小学校の制服が統一されていれば、町内の方等と制服のやりとりができる。

　環境に優しく、リサイクルの観点から、子供がものを大切にする気持ちを持つ意味からも大切であり、制服を順次統一せよ。

学校教育課長　制服のあり方や選定は、学校が保護者と協議した上で決めるものと考えている。

　制服のリサイクルは、２つの小学校でＰＴＡ事業として実施しているが、ものを大事にする環境教育の観点から、保護者や学校に働きかけていきたい。

夷藤　各小学校の制服が違う理由と経緯は。

学校教育課長　学校ごとに歴史や地域性などを反映して定められてきた。

児童が通学に利用（アカシア向粟崎２号線）

２号線を早期着工せよ

夷藤　アカシア向粟崎２号線で、先行取得した土地は約10年以上放置されているが、住民に説明する必要がある。

　向粟崎小学校の通学路になっており、地面は部分的に危険な状況になっているため、先行して買った土地を早急に改善すべきでないか。

用地交渉の解決を急ぐ

都市整備部長　用地交渉が解決すれば、早期の事業化に向け各方面に働きかけ、議会、沿道住民にスケジュールを示したい。

　また、児童生徒を含め歩行者の安全確保の観点から、どの方法がいいか整備に向けて検討したい。

夷藤　大野川緑のアメニティの駐車場の一部に、フェンスを設置せよ。

都市整備部長　一部に設置しても安全・安心につながるか疑問。

夷藤　不法係留問題は、環境面からも避けて通れないことでないか。

八十出町長　ごみ等の環境問題は、県と対応を協議していきたい。

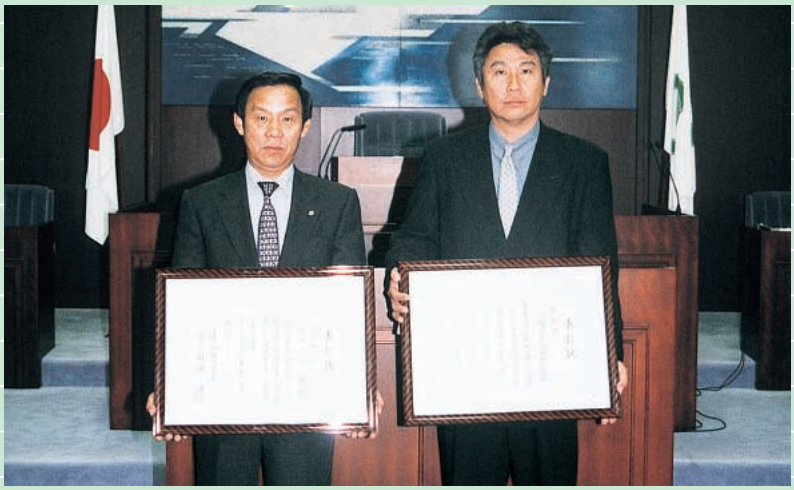
夷藤　不法係留問題に、なぜ真剣に取り組もうとしないのか。

町長　法に基づく行政代執行等の措置を県と協議したい。

政治家とは!?

はちの やすひこ

地方自治の振興発展に寄与



町村議会議員として、地方自治の振興発展に15年間寄与された功績により、中川達議員と八田外茂男議員に全国町村議会議長会長より表彰が伝達されました。

2年連続「奨励賞」

第21回全国町村議会広報コンクールにおいて、「うちなだ議会だより」が昨年に続き、奨励賞を受賞しました。

議会中継のお知らせ

本会議の録画映像を内灘町ホームページで公開しています。便利なサービスから議会録画中継を選択してください。

DVDの貸出しも行っています。

内灘町議会事務局　TEL 286－6715
FAX 286－6711

編集後記

4月に統一地方選挙が行われ、内灘町は新人6人を含め16人の議員が選ばれました。

議会広報委員も、渡辺議長のもと、新人3名を含め5人の委員が選任され、新たにスタートを切ることになりましたが、読みやすく判りやすい「議会だより」の編集を心がけていきたいと思っております。

このためにも、町民の皆様のご提案、ご批評を期待しておりますので、ドシドシ御意見をお願い致します。

早くも、全国の市町村議会広報委員会から、多数の視察の申し込みがきていますが、「能登半島地震」の復興と支援の気持ちも込められているものと考えています。

能登の早期の復興を祈念するとともに、町民の皆様のご健康をお祈りしています。

（川口）